

うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」や NPO 団体などを紹介します。

問 市民協働課 ☎82・2130/IP ☎88・9085

1 桜舞う！大宇陀政始まち協桜まつり！

4月5日(土) 大宇陀政始まち協主催の桜まつりを、旧守道小学校運動場で開催しました。天候にも恵まれて、参加した皆さんは大いに楽しめました。

すっかり地域の行事として定着したこの催し、今年は300人以上の方にお越しいただき、過去最高の人出となりました。

琴の演奏会からスタートです。生田流箏曲桐歌会(きんたのりゅうそうきょくどうかかい)の皆さんと賛助出



▲桜まつりを楽しむ様子

演で尺八との共演も行いました。よく耳にする「さくらさくら」からはじまり、春の日差しと、爽やかな風に舞う花びらと、春の穏やかな景色のなかで参加者も楽しいひと時を過ごしました。

そして、この催しのために、食材の調達から始まり、仕込み、会場設営は、前日から準備になります。当

2 小原の滝整備事業完了式典

室生笠間地区まち協(4月2日(水) 室生笠間地区の小原にある「小原の滝」で整備事業完了式典が開催しました。

この滝は、県道781号線(都祁名張線)沿いで、小倉インターへ向かう「やまなみロード」近くにあり、明治45年に発行された山辺郡史にも大きく写真で紹介されています。



▲綺麗になった小原の滝

残念ながら近年までは、周辺に生い茂る木々で滝の姿が見えづらく、ごみの不法投棄も多く荒れ果て悲惨な状態でした。

そこで、滝とその周辺を綺麗にするための整備事業を立ち上げ、令和2年度から多くの住民の方々の協力

3 令和7年度宇陀市まちづくり活動[20周年絆]

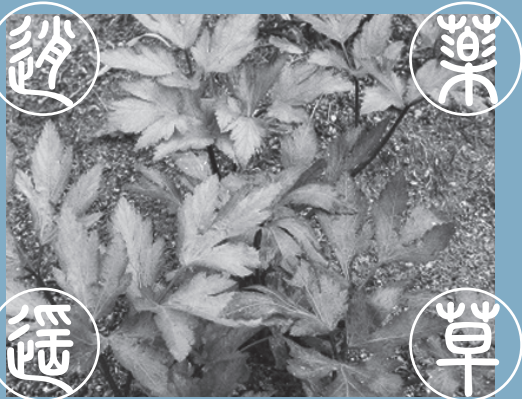
団体名	事業名と活動内容
紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会	【市民がつくる市制20周年記念事業】市制20周年を機に伊勢街道と神武神話をテーマに講演・バスツアーを開催。交流人口の拡大と地域間連携を促進する。
オレンジ・サロン・ド・AIKA	【オレンジ・サロン・ド・AIKA】移動式キッチンカーで子育て世帯や高齢者に食支援を行い、地域の憩いの場と世代を越えた交流拠点づくりを目指す。
内牧自治会	【竣工記念と春を祝う「内牧区民の森さくらまつり」】内牧区民の森の完成記念として竣工式とさくらまつりを開催し、観光・文化・環境を融合させた地域魅力の発信を図る。

により、樹木の伐採をはじめ周辺環境の整備を年次的に実施し、無事完了となったこの春、関係者の方を対象にした「滝のお披露目」と「案内看板の除幕式」を行いました。

現在は、SNSでも「滝の愛好家」や「バイクや自転車のツーリング」など、訪れた人々の間で話題になることが多く、人が集まる交流の場として好評です。地域財産であるこの滝を活用しながら、これからも地域の活性化を進めていきます。

応援補助金の交付事業が決定【通常枠】

団体名	事業名と活動内容
「菟田の」辰砂水銀資料を遺す会	【辰砂水銀資料を次世代へつなぐ事業(クイックシルバー事業)】宇陀市の水銀史資料を調査・保存し、「朱のまち」としての魅力を示し、観光資源化を図る。
宇陀市の神話と歴史を考える会	【宇陀郡と豊臣政権との関係】大河ドラマ「豊臣兄弟」にあわせ、宇陀の戦国～江戸期の歴史を講演で紹介し、松山城などとの関連性を明らかにする。
大師管理委員会	【大師山石仏群の保全と活用事業】大師山の石仏巡拝路や手すりの整備、ライトアップ行事などを通じて、住民参加型の観光資源づくりと維持体制を強化する。
NPO 幸せのバトン	【関係人口と地元住民が共創する地域活性化を目指して】古民家や田舎体験を活かした体験イベントを開催し、関係人口創出と地域ネットワーク強化、「憩ハッピーバトン」の場づくりを目指す。
向洲の歴史を継承する会	【向洲の歴史を継承する】向洲地区の古代伊勢街道を中心に散策コースや看板を整備、専門家の講演や夏祭り参加などで歴史継承と地域活性を進める。
東大和高原探検倶楽部	【東大和高原の自然と暮らし体験】ジビエや薬草、龍神伝説などの地域資源を体験型観光として活用し、誘客と観光事業者間の連携強化による産業振興を図る。
宇陀の森と音楽実行委員会	【森と音楽 "Nation of Earth" 宇陀の森の音楽祭】宇陀でワールドミュージック祭を開催し、自然と音楽の融合によるインバウンド誘客と多文化交流の促進を目指す。
宇陀おもちゃ病院	【宇陀おもちゃ病院】おもちゃ病院の道具整備と広報を進め、園への出張や工作教室を通じて活動の場を広げ、地域との交流を深める。
うだCSDo(宇陀市コミュニティスクール実行委員会)	【うだCSDo】食育映画と講演、菜園ワークショップを通じてエディブルスクールヤードの理念を紹介し、地元農家との交流を促す。
榛原さずな広場実行委員会	【榛原さずな広場】空き家・空地を活用して「えべっさん」「花火大会」などの地域行事を復活させ、交流の場として広場を整備する。
すこやか住まいの会	【木造住宅改修における耐震化促進事業】木造住宅の耐震化を推進するため、市民向け情報誌や現場見学会を実施し、関係団体と連携して地域の安全性を高める。
宇陀の薬草を全国に広める会	【宇陀で学ぶ薬草講座の開催】首都圏講師を招いた薬草講座を定期開催し、地元農家や観光業者との連携を通じて宇陀の薬草文化を広く発信する。



アカメガシワ

アカメガシワは、新芽や新葉が赤い毛で覆われ、赤く見えることから名付けられました。昔から身近な植物で、食器の代わりやこの葉に食べ物を載せていたので、菜盛(さいもり)葉とか御菜葉(ごさいば)と親しみを込めて呼ばれています。救民妙薬集には、痔にはアカメガシワの幹の皮の黒焼きを酒で飲むとよいとの記載もあります。アカメガシワは痔ばかりでなく、腫れ物や瘰癧(頸部のリン

パ腺が腫れる病気)によく効きます。飲んでよし、ふろに入れてよしで、非常に効果的な生薬です。このアカメガシワの樹皮を煎じて服用すれば胃酸過多症、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、陽炎、胆石、肝炎、神経痛、リウマチなどに効果があります。また、木の葉を煎じてふろに入れ、入浴剤とすれば、腫れ物、乳腺炎、痔、湿疹、頭瘡、かゆみ止めに効果があります。



※当市で「薬草活用講演会」をさせていただいた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

薬草逍遙(やくそうしやうよう)毎回「薬草」に関わる内容を連載でお届けするコラムです。

問 商工産業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075